

社会医療法人かりゆし会の広報誌

2016 No.86

夏号

無料 / TAKE FREE

ご自由にお持ち帰り下さい

あすなる

■特集1■

ハートライフDMAT

■特集2■

すべては地域のみなさんの「日々の命のために」
もっと助ける救急部へ



タイトル 『海のほうせき』
絵画の詳しい情報は9ページへ！



ハートライフDMAT

1995年の阪神淡路大震災を契機に日本の災害医療は整備が進み、2005年に日本DMAT(Disaster medical assistance team)が発足、2011年3月の東日本大震災では最初の12日間に340隊、1,500名のDMATが支援を行ったと言われています。

当院は2014年6月にDMAT隊員養成研修を受講、9月にDMAT指定医療機関として認定され、2016年4月の熊本地震では沖縄県の最先着DMATとして熊本赤十字病院へ参集、支援活動を行いました。

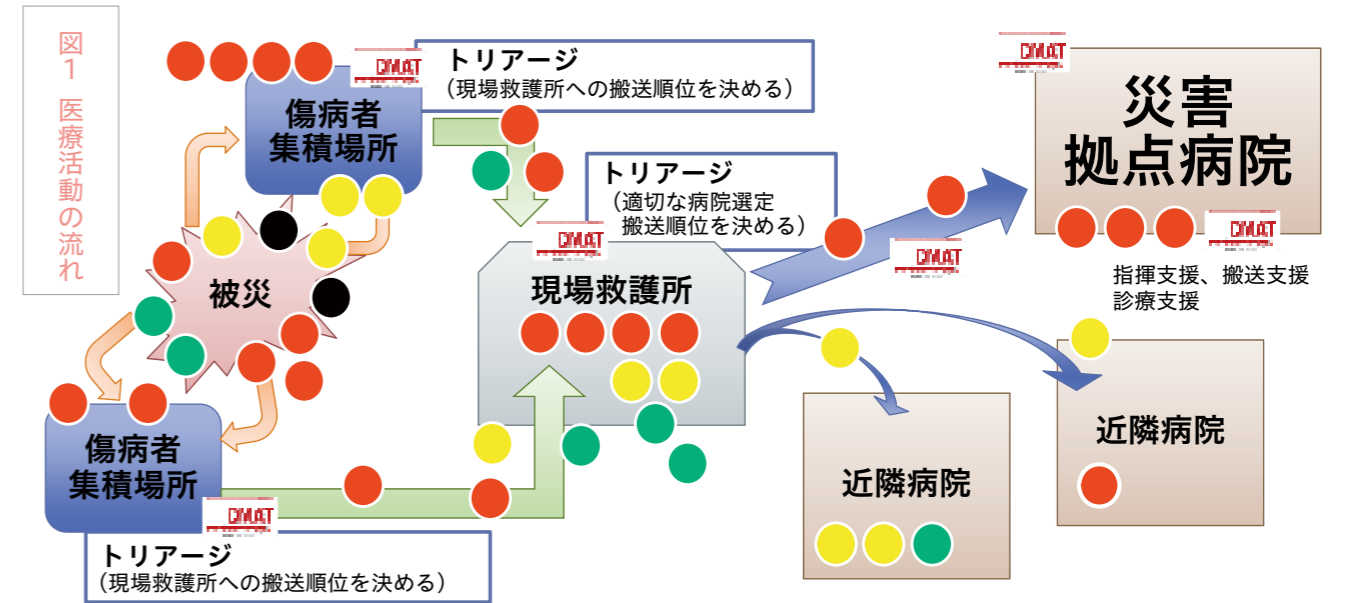
DMATとは

DMATとは、通常診療が行えれば避けられた死(防ぎ得た災害死)を減らすことを目的に、できるだけ多くの人に根本治療を、そのためにできるだけ多くの人を適切な医療機関へ搬送するための安定化処置を施し最大多数の最大幸福をめざして活動をする厚生労働省の認めた専門研修・訓練を受けた災害派遣医療チームです。

DMATの医療活動

今回は、被災地でDMATがどういった医療を行っているのか簡単に説明をしたいと思います。次ページの図1のようにまず被災場所で発生した多数の傷病者(患者さん)は、「傷病者集積場所」とよばれる安全の確保された被災場所の近くに集まります(救助隊などにより集

められます)。そこから救急隊により医師/看護師が待機する「(現場)救護所」と呼ばれる簡単な医療行為ができる場所へ搬送されていきます。救護所は「赤(重症)」「黄(中等症)」「緑(軽症)」とエリア分けされ、すぐに救命処置を行わないと生命の危険が高いと判断された患者から初期治療、安定化の処置を施し、適切な医療機関へ搬送していきます。しかし、多数の傷病者が「赤」と判断されるような、医療の需要が供給を大きく上回った場合には、治療や搬送の優先度を定めるために「トリアージ」と呼ばれる手法が選択されることになります。こういった限られた医療資源のなかで防ぎ得た災害死をゼロにするためどうすればいいかということをお勉強し訓練しているのがDMATというチームになります。



被災地での活動

今回の熊本地震での当院DMATのように、被災地外から支援に入るDMATはまず指示された活動拠点本部に参集します。その後、それぞれの指揮所(現場活動指揮所、病院支援指揮所など)の下で、指示されれば救護所などへの応援診療(診療支援)にもはいるますが、多数の傷病者が押し寄せてくる災害拠点病院の拠点化(指揮支援)をはかり、その病院では対応し



熊本地震での指揮所の様子

きれなくなる患者さんを被害の少ない病院や、被災地内では医療資源が制限されてしまう場合(クラッシュ症候群での透析治療など)には、被災地外へ自衛隊機等を用いて患者さんを搬送するお手伝い(搬送支援)や、被災し入院診療が行えなくなった病院があればその病院の入院患者さんの転院(病院避難)のお手伝いもします。

熊本地震では1,400名を越える病院避難を全国から集まったDMATが搬送先医療機関の選定、調整、搬送を担ったと報告されています。離島である沖縄で災害が起きた場合の備えは、現状で大丈夫、とはいえないのはみなさん御存知の通りでこれからも院内、地域、県内でも災害への準備を整えていく必要があるものと考え活動を続けていきたいと思っています。

解説

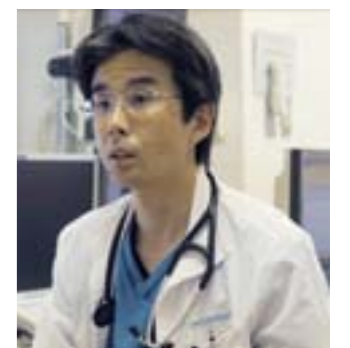
ハートライフ病院 救急総合診療部副部長
三戸 正人 (みと まさと)

【プロフィール】

山形大学医学部附属病院、米沢市立病院、山形県立中央病院、山形県立日本海病院(現 日本海総合病院)、公立久米島病院を経て、平成20年よりハートライフ病院 循環器内科医として勤務。平成24年7月より現職。

【学会認定】

救急科専門医、循環器専門医、日本内科学会指導医、総合内科専門医、日本体育協会公認スポーツドクター





すべては地域のみなさんの「日々の命のために」 もっと助ける救急部へ

文 救急総合診療部副部長
三戸 正人(みと まさと)

クラウド型12誘導 心電図伝送システム

日本人の死因第2位の心疾患、とくに発症すると20%の方が命を落とす急性心筋梗塞では、治療までの時間が短ければ短いほど救命率、社会復帰率が高まると言われ、病院受診後60分以内に根本治療をすることが勧められています。

昨春より、全国に先駆けてNTTドコモさんと連携し導入したクラウド型12誘導心電図伝送システムでは、救急隊員が現場で患者さんと接触した際にとった心電図をクラウドサーバにアップロードすると同時に病院に連絡することで、インターネット環境さえあれば循環器内科の専門医が鮮明な心電図を閲覧し、緊急カテーテル治療(PCI)が必要と判断した場合には治

療に必要なチームを招集、根本治療のための準備をすすめることができるようになりました。

「病院についてから心電図をとるから・・・」と思われるかもしれませんが、不整脈や非典型的な(非ST上昇型)心筋梗塞では病院前の心電図のみで異常が検出される頻度が15%あると言われており、今後ますます病院前、救急隊との連携が重要となってくるものと思われます。

救急領域でも活躍

さらに循環器疾患だけでなく救急領域でも、事故現場やけがの状況などを静止画や動画で伝送することで、緊急対応が必要なスタッフや手術室の確保など、外傷や事故にあった患者さんの治療においても非常に有効なことを実感しています。

治療までの時間を 20分も短縮

まだ導入後1年ではありますが、心電図は115症例、画像は65症例が当院へ伝送され、実際にこのシステムを用いて搬送された急性心筋梗塞患者さんの場合、心電図伝送がされな

かった患者さんに比べて、来院後に根本治療であるカテーテル治療(PCI)までの時間を20分も短縮できるようになりました。この成果は学会や商業誌でも報告され、当院と近隣消防の取り組みや運用の実際をみるために、県外の大病院から見学に来られることから、本システム導入の効果と反響の大きさを実感しています。

迅速な治療が可能になる ドクターカー

しかし、ハートライフ病院の近隣に生活する地域のみなさんの命を守るためには病院で待っているだけではなく、もっと早く医療を開始し、根本治療までの時間をさらに短くしたいと考えた時に、倒れてしまった場所や事故現場はもちろん、救急病院への搬送が必要だと診断していただいた連携診療所まで、医師・看護師を派遣し初期治療を開始できる救急室(Mobile ER)としての機能を持ったドクターカーがどうしても必要だと気づくことになりました。

病院救急車型の ドクターカー

ドクターカーといっても医師・看護師を現場へ投入することを目的とした乗用車型(浦添総合病院)や、消防職員と救急車両を消防が病院に配置、要請に応じて医師・看護師を同乗させて現場へ出動するワークステーション方式(県立中部病院)もありますが、当院では地域性も考慮し、医師・看護師の現場派遣もでき、かつ当院職員のみで患者搬送も可能な病院救急車型のドクターカーを準備いたしました。このドク



ドクターカー内部の様子。12誘導心電図や心電図、除細動器、人工呼吸器、吸引器などの医療機器を配置し「動く救急室(モバイルER)」として機能させる。

ターカーには、県内初のDMAT指揮車としても機能できるようインターネット環境も整え、心電図や画像、現場の状況を病院へ伝送、病院からも救急車内の患者さんの情報をリアルタイムで把握できる最新のシステムを搭載しております。

すべては地域のみなさんの 「日々の命のために」

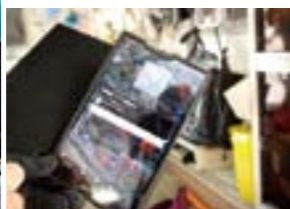
医師、看護師は日々成長するために必要な努力を続け、そのために必要な医療設備・環境もハートライフ病院には整いつつあります。

搬送されたあとも「ちゃんと助ける救急部」であり続け、搬送前、病院前から医療を投入することで「もっと助けるER」として、今まで以上に信じて頂けるハートライフ病院であるため、私たちは笑顔で親切を実践しながら精進していくつもりです。

すべては「日々の命のために」



左：救急隊より伝送された心電図を複数のスタッフで検討
下：モバイル端末で画像や動画で送ることもできる



予防医学センター 人間ドック 通信

健康相談に関する満足度調査の結果について

ハートライフ病院 予防医学センターの健康相談室では、相談業務の改善及び質の向上を図るため、「健康相談に関する満足度調査」アンケートを実施し、多くの受診者のみなさまから貴重なご意見等をお伺いすることができました。

文 保健師 呉屋 みなみ (ごや みなみ)

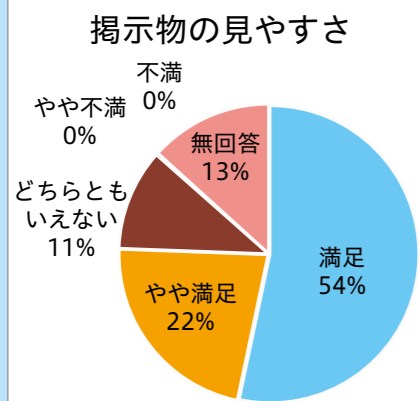
実施期間：平成28年6月1日～30日

対象者：人間ドック・健診受診者のうち健康相談を受けていただいた方 のべ512人

男女構成比：男性36% 女性56% (無回答8%)

健康相談を行う方のプライバシーの保護、施設の清潔感、温度、掲示物の見やすさなどの「環境」に関する回答では平均92%、説明の分かりやすさや適切な資料の提示、言葉遣い、相談しやすい雰囲気などのスタッフの「対応」に関する回答では97.25%と概ね高い評価をいただきました。

一方で、不満・やや不満といった回答はほとんどなかったものの、ほかの項目に比べ無回答数の多かった項目に関しては改善の必要があると考えます。

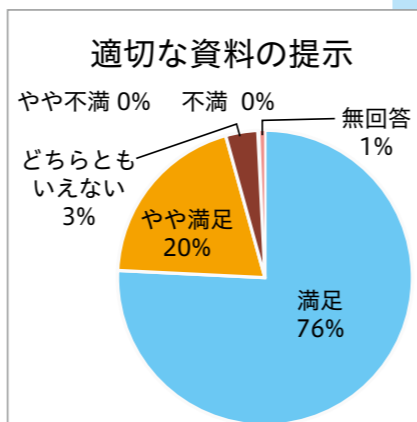


「環境」に関する項目の掲示物の見やすさに関しては、健康相談室前の1か所だけに掲示板を設けているため、多くの方に見てもらえるよう設置

場所を増やしたり、関心度の高いテーマをタイムリーに提供できるよう掲示内容を工夫し、待ち時間を有効にお使いいただけるように改善していきます。

「対応」に関する項目の、適切な資料の提示に関しては、「満足」していただける方が増える

よう、提供できる資料の充実を図ります。まず、ドック時の健康相談の内容をふり返ることができるよう「健康相談内容記録表」を作成しました。今年度7月より運用しています。



「対応」に関する4項目について「利用頻度」別にみると、「初めて」利用した方の満足度はとても高かったものの、「ほぼ毎年」「久しぶり」といった過去に健康相談を経験された方は「やや満足」と答えた方もみられました。すべての方に「満足」して頂けるよう、過去の検査データや生活習慣の変化を指導に活かし、経年的な指導ができるようなシステム構築をしていきます。今回の調査を参考に平成28年度は更なる改善に取り組んでいきたいと思ひます。ご協力ありがとうございました。

今回のアンケート結果はホームページで公開しております。詳細をご覧になりたい方はホームページをご覧ください。
【URL】
https://www.heartlife.or.jp/asunaro/doc_asunaro/



ハートライフ病院 看護部便り

部署紹介リレー vol.6 「5階病棟」



文 5階病棟師長
米須 智子
(こめす ともこ)

ハートライフ病院5階病棟は小児科と消化器内科の混合病棟となっており、看護師以外にも保育士が月曜日から金曜日まで勤務しています。プレイルームも完備し、お子さまの入院生活でのストレスを少しでも軽減できるように努めています。

平成28年4月から食物アレルギーの子どもに対し「安全に食べられる量の判断をする」経口負荷試験入院を開始しました。医師、看護師の付き添いのもと、アレルギー

一が疑われる食物を量・時間を設定して食べていきます。負荷試験の結果、医師が許可した量で栄養士が食材について詳しく説明を行います。「食べられる範囲を食べさせる」からスタートし食物アレルギーの子ども達が健やかに育つよう手助けをしていきたいと思っています。

お子さまの食物アレルギーで悩んでいる親御さんは、まずはかかりつけの先生へご相談ください。



5階病棟の医師と看護師、
コメディカルスタッフのみなさん

News かりゆし会からのお知らせです。

ハートライフ病院

ハートライフ病院 救急フェアが開催されました。

去る7月30日、ドクターカー導入を記念してハートライフ病院救急フェアが開催されました。職員や地域のお子さまに医療現場を体験していただき、家族の健康や医療に関心を持ってもらう事を目的に、胃カメラや縫合、エコー、蘇生処置^{そせいしよち}などが体験できる14のブースをはじめ、熱中症や災害時の備えなど、いざというときの対処法が学べる15のパネル展示、白衣や手術着、DMAT 隊員服を着て記念撮影ができるコーナーなど、あいにくの天気にも関わらず400名近くの方にご参加いただきました。「救急車（ドクターカー）に乗れて子どもが喜んだ」「中々体験できない事を見たり聞いたりできて子ども達も良い経験になった」等といった声も聞かれ、ほとんどの体験ブースで行列がきれいなほどの大盛況となりました。



初めての開催ということもあり運営について至らない点が多くありましたが、ご協力いただいたアンケートをもとに、今後の病院イベント等に活用してまいります。また、本フェアは病院職員に加えて、近隣4消防から12名の消防・救急隊員の協力も得て開催されました。この場を借りて厚く御礼申し上げます。



かりゆし会

本誌のアンケートに答えていただくと抽選で商品券を進呈します！

広報誌あすなろでは試験的に読者アンケートを開始致しました。これは、アンケートによる調査結果で読者のニーズを把握し、適切な情報提供や広報誌の紙面構成の参考等、今後の広報活動に活かしていく為のものです。注意事項をよくご確認のうえ、必要事項を記入しハガキを投函^{とうかん}（切手不要）して頂くと、抽選で5名様に1,000円分の商品券を進呈致します。ぜひご協力をお願い致します。なお、当選は発送をもってかえさせていただきます。また、プレゼントの応募は各号お1人さま1回に限り有効です。

絵作者紹介

「海のほうせき」

今回の扉絵は高良小学校 5年生
赤嶺 依乙里(あがみね いおり)さんの作品です。



ここは、海の中です。あそこに、きれいな貝がらがおちています。それをにじ色の魚がみつけました。すると、きれいな貝がらが光りはじめました。そのとたん、うみのよづれがおちて、きれいな花がたくさんさきました。

作品提供：あがペエ子供造型教室 ☎(098)856-8643



脱水に気をつけて猛暑をのりきるう！

フルーツ入り水ゼリー

私達が
監修しました



管理栄養士 調理師
とまり ずけらん しゅん
渡真利 ゆりか 瑞慶覧 瞬

猛暑が続くこの季節、気をつけたいのが脱水症。熱中症になる一歩手前、かくれ脱水(自覚症状のない脱水)に注意が必要です。のどが渴いたと訴えられない小さなお子さんや、のどが渴いたことに気づきにくい高齢者の方は特に気をつけましょう。水ゼリーは水分補給にも良し！ダイエットにも良し！お好みのフルーツを入れたり、水の代わりにスポーツドリンク(カロリーの気になる方は0kcalのスポーツドリンク)でもOKです。

●材料(2人前)● 1人分のカロリーはわずか 27kcal !

- 水.....300ml
- ゼラチン.....5g (アガーの場合なら10g)
- すいか.....40g
- キウイフルーツ.....40g

●作り方●

1. フルーツを1口サイズに切って器に入れておきます。
2. 半量の水を沸かし、ゼラチン全量を入れてよくかき混ぜます。
3. ゼラチンが溶けたら火からおろし、残りの水を入れて①の型に流し入れます。
4. あら熱が取れたら冷蔵庫へ入れて、冷え固まったら完成です！



ヘルシーカフェ ohana(オハナ)は管理栄養士がプロデュースするカフェです。モーニング、ランチ、塩分控えめなお弁当やオードブルもご用意致します。

営業時間 8:30 ~ 15:00 (L.O 14:30)
 電話 098-882-0087
 住所 沖縄県中頭郡西原町字掛保久 288 番地(ハートライフクリニック2階)
 ブログ https://www.heartlife.or.jp/blog_ohana/

皆さまから送られた感謝のお言葉に感激しています

患者さんからの ありがとう メッセージ

文 管理栄養士 当真 結子(とうま ゆいこ)

素敵な文面やイラストに 心躍らせて

これらのカードは、入院中の患者さんより頂いたメッセージカードです。皆さまから送られた「ごちそうさま」、「ありがとう」のお言葉に感激し、また素敵な文面や可愛いイラストに心躍らせています。誠にありがとうございます。

この感動を「栄養科スタッフだけで納めておくのはもったいない！」と思い、今回は数多くのメッセージの中から一部を紹介させて頂きました。

私共が提供している食事の力で、療養中の皆さまに心も体も元気になって頂くことを目指している私たちにとって「おいしい」と言って頂けることはとても嬉しく、皆さまから日々の活力を頂いているのだと感じております。

毎日のお食事について 一緒に考えましょう

栄養科では患者さん1人ひとりに合わせて、お食事の工夫や相談を行っており、治療を行う上で「食欲がない、今の食事では食べ辛い」などのお悩みがございましたら、入院中だけでなく通院している皆さまも、ぜひ一度栄養士までお声かけ下さい。皆さまと相談しながら毎日のお食事について一緒に考えていきましょう。

当院にいらっしゃる皆さまにお食事が待ち遠しいと思って頂けるように日々精進してまいりますので、今後ともよろしくお願い致します。

栄養科職員一同より
心からの感謝を込めて



簡単フリースで健康体操

監修 理学療法士 長嶺 敦司(ながみね あつし)
モデル 健康運動指導士 平良 早陽香(たいら さやか)

長い夏が始まりました!この時期は大事な行事「お盆」がありますね!そこで今回は「ウートー体操」で上半身を強化しバスタップ!また半袖の季節でもあり、腕のお肉が気になる方へ「キューピー体操」を紹介します。この運動はいつでもどこでもできるのが特徴です。ぜひ、仕事・家事・テレビCMの合間などに行なって下さい。

1 手のひらを合わせて ウートー体操



「ウートー」をするように手の平を合わせます。



手の平を押し合いながら腕を前へ伸ばします。10~20回程度繰り返しましょう。



手のひらを押し合いながら

応用編



手の平を押し合いながら、腕を左右に振ります。

2 この腕の脂肪は可愛く取ろう! キューピー体操

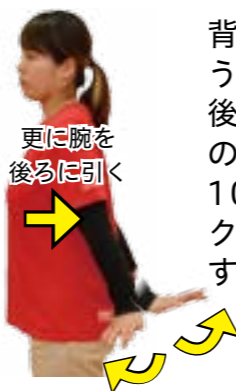


腕を後ろに引く



肘を伸ばし、腕を身体の後ろへ引き、手のひらを広げます。手のひらを、10~30回程度クルクル回します。

応用編



更に腕を後ろに引く

背中を寄せるように、更に腕を後ろへ引き、手のひらを広げ10~30回程度クルクル回します。

ホームページで体操やエクササイズ動画をご覧いただけます。ぜひご覧ください。

リ्यूザ あすなろ

検索

URL <http://www.heartlife.or.jp/asunaro/>



介護の現場から

ハートライフ地域包括ケアセンター 住宅型有料老人ホーム はーとらいふ

「生活の場」でその方らしく 過ごせるよう関わっていききたい

文 住宅型有料老人ホームはーとらいふ
主任 看護師 片山 のぞみ(かたやま のぞみ)

「住宅型有料老人ホームはーとらいふ」は今年7月に1周年を迎えました。

介護事業1年目は全職員が日々奮闘しながら試行錯誤の1年で、ご利用者様及びご家族様にはご迷惑をお掛けしたかと思いますが、ご理解とご協力を頂き大変感謝しています。

私はハートライフ病院に入職して整形外科・脳神経外科病棟で4年間務め、ハートライフ地域包括ケアセンター開所の際に異動してきました。今まで介護分野での経験もなかったため、医療機器もほとんど無く可能な処置も限られた環境に不安もあり、長年働いてきた医療の現場との違いに戸惑う場面も多く、看護師や介護スタッフ主体で出来る限りのケアや処置は行えることや、早急に連携機関へ引き継ぐことの必要性も痛感しました。

また、利用者様及びご家族様・各部署ス

タッフとの日々の関わりを通して、施設での看護師の役割について気づかされる事が多く、介護分野での知識も更に深め、これからも頑張っていきたいと実感した一年でした。
現在は「生活の場」という環境においていかに安心してその方らしく過ごしていただけるか、という事を常に意識しながらご利用者様・ご家族様に関わっていけるよう心がけています。

2年目を迎え、まだまだ不十分な点はあるかと思いますが、ご利用者様の事を第一に考え各部署と連携し、個別性のあるケアを大切にしながらスタッフ一同努力して参ります。

また、主任としてスタッフの働きやすい環境を作り、チームワークのある笑顔あふれる施設を目指したいと思います。今後ともどうぞよろしくお願い致します。

施設概要

ハートライフ地域包括ケアセンター「住宅型有料老人ホームはーとらいふ」

住所：沖縄県中頭郡西原町字小那覇1606番地

電話番号：098-944-3300(代)

FAX：098-944-3311



こんにちは
患者相談
窓口です

退院に向けた取り組みが強化されます！

文 医療ソーシャルワーカー 川満 慎吾(かわみつ しんご)

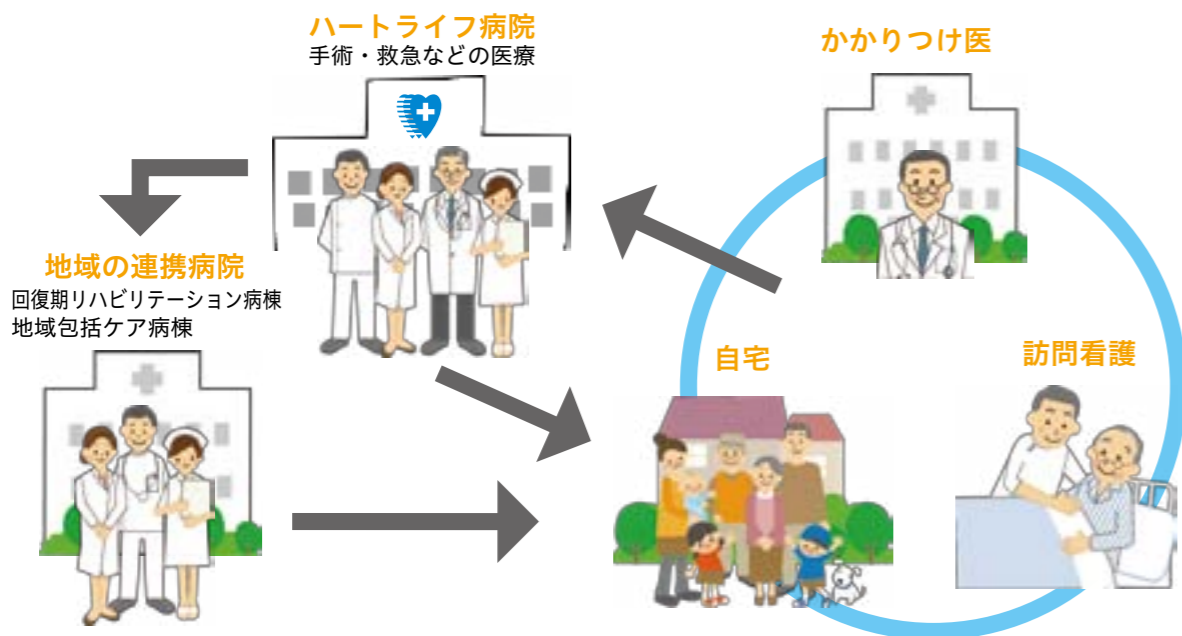
入院時から始まる退院支援

ハートライフ病院は救急・重症の患者さんに対して専門的な医療を提供する「急性期病院」の役割を担っています。急性期病院の特徴は入院期間が短く、治療が終わると、あっという間に退院や転院の話が出てくることもそう珍しくはありません。そのため入院当初から医療ソーシャルワーカーが早めに介入し、安心して退院を迎えることができるよう、家族やケアマネジャー等と連携を図っていきます。

●入院当初から関わりをもつことで、入院前の本人の身体状況や生活状況を早期に把握することができ、治療やリハビリをすすめるうえでの参考になります。

●「入院したばかりなのに…」「退院の許可が出る前から退院後の話をするの…」と思う方もいらっしゃるかもしれませんが、より早くから関わることで退院後の生活についてゆとりをもって一緒に考えることができます。

地域の病院との役割分担



当院では医療ソーシャルワーカーが退院支援を行ないます。それぞれの入院病棟に担当の医療ソーシャルワーカーがいますので、お困り事があればいつでもお声かけください。

病棟	担当者
ICU	高澤 信哉(たかざわ しんや)
2階西病棟	桑江 幸子(くわえ さちこ)
3階新病棟	高澤 信哉(たかざわ しんや)
3階病棟	川満 慎吾(かわみつ しんご)
4階病棟	桑江 幸子(くわえ さちこ)
5階病棟	高澤 信哉(たかざわ しんや)
6階病棟	西田 悠希子(にしだ ゆきこ)
7階病棟	徳盛 宏賢(とくもり ひろたか)

2016年7月現在

連携診療所紹介 2016年3月31日現在、ハートライフ病院は292件の診療所と連携しています

たいら内科クリニック

【住所】〒905-0011 沖縄県名護市宮里6丁目8番7号
【TEL】0980-53-0033

診療内容 内科・血液内科



私は平成15年から平成28年までハートライフ病院の血液内科に勤めていました。開業後、沢山の方から名護で開業した理由を尋ねられます。それは私の専門の血液内科が関係しています。

血液内科とは白血病や出血性疾患、貧血などの診察・治療を行う診療科です。血液疾患の多くはまれな病気であり、そのため専門の医師が少ないのが現状です。特に北部地域には専門医がいないため、わざわざ中部地区の病院まで通院されている方もいらっしゃいます。

私は医療の地域格差をなくしたいと思いこれまで頑張ってきました。ハートライフ



病院では骨髄移植を立ち上げ、それまで本土で受けてた骨髄移植が沖縄で受けられるようになりました。

開業するにあたりまず考えたのが地域格差です。北部の方が安心して地元で専門の治療を受けられるようにしたいと思い名護で開業しました。今後は地域に根差し地域の方々から信頼され、安心を提供できる医療を行っていきたいと思っております。尚、血液疾患以外に生活習慣病の治療も行っております。



たいら内科クリニック
院長 平良 直也 先生

学会認定
日本内科学会総合内科専門医
日本血液学会認定血液専門医

たいら内科クリニック

診療時間	月	火	水	木	金	土
午前9:00~12:00	○	○	○	○	○	○
午後2:00~5:00	○	○	休診	○	○	15:30まで

休診日/水曜午後・日曜・祝日

地域医療連携室 ~開放型病院・開放病床のおはなし~

開放型病院・開放病床とは、当院と連携して頂いている先生が入院を必要と判断した患者さんがいる場合に自由に利用できる病床のことです。当院は開放病床として22床を提供しています。

ハートライフ病院の医師と患者さんのかかりつけ医が共同で診療を行うことにより、患者さんは当院での診療から退院後のかかりつけ医による診療と一貫した継続診療が受けられ、入院中も普段から受診している先生の顔を見ることもでき安心につながります。

医療は、患者さんを中心に身近な地域で提供されることが望ましいとの考えから、当院の設備(ベッドや検査機器など)を地域の先生方に自由に使って頂けるよう開放し、協力して患者さんの継続した病気の治療と健康維持を目指しています。

社会医療法人かりゆし会の理念

わたしたちは心と心をつなぐ
信頼される医療を目指します

ハートライフ病院

〒901-2492 沖縄県中頭郡中城村字伊集208番地
TEL.(098)895-3255(代) FAX.(098)895-2534

診療科目

●内 科 ●呼吸器内科 ●循環器内科 ●消化器内科 ●肝臓内科 ●血液内科 ●人工透析内科 ●腎 臓 内 科
●心療内科 ●小 児 科 ●外 科 ●乳腺外科 ●食道外科 ●膵臓外科 ●血 管 外 科 ●大腸・肛門外科
●整形外科 ●形 成 外 科 ●脳神経外科 ●産 婦 人 科 ●泌尿器科 ●眼 科 ●耳鼻咽喉科 ●皮 膚 科
●放射線科 ●麻酔科(久場良也) ●リハビリテーション科 ●救 急 科 ●病理診断科
■予防医学センター(特定健診、人間ドック/2日ドック・半日) ■内視鏡センター
■無菌治療センター ■悪性腫瘍相談支援センター ■ヘルニアセンター

外来診療 ※診療科によって診療日、受付時間、診療時間が異なります。お問い合わせのうえご来院下さい。

	受付時間	診療時間
月～金	8:00～11:30 12:00～16:30	月～金 9:00～12:00 14:00～17:00
土	8:00～11:30	土 9:00～12:00

24時間救急 24時間365日、急病の方を受け付けております。

※左記以外の時間は救急扱いとなります。

土曜日の午後・日曜日・祝日は休診

ハートライフクリニック

〒903-0101 沖縄県中頭郡西原町字掛保久288番地
TEL.(098)882-0810(代) FAX.(098)882-0820

診療科目

●糖尿病内科
●内 科
●小児科

外来診療 ※診療科によって診療日、受付時間、診療時間が異なります。お問い合わせのうえご来院下さい。

	受付時間	診療時間
月～金	8:00～11:30 13:00～16:30	月～金 9:00～12:00 14:00～17:30
土	8:00～11:30	土 9:00～12:00

休診日
糖尿病内科/土曜日・日曜日・祝日
内科・小児科/土曜日の午後・日曜日・祝日

付属施設

疾病予防運動施設 Ryuew-ZA (リュウザ)

営業時間

午前 9:00～12:30
午後 13:30～17:00
土曜日・日曜日・祝祭日は休み

ヘルシーカフェ ohana (オハナ)

営業時間

月～金 8:30～15:00 (ラストオーダー14:30)
土曜日・日曜日・祝祭日は休み

ハートライフ地域包括ケアセンター

〒903-0103 沖縄県中頭郡西原町字小那覇1606番地
TEL.(098)944-3300(代) FAX.(098)944-3311

■住宅型有料老人ホームはーとらいふ
■デイサービスはーとらいふ
■ケアプランセンター はーとらいふ

■ヘルパーステーション はーとらいふ
■訪問看護ステーション はーとらいふ

お問い合わせ

受付時間

午前 8:30～午後 17:30 月曜日～金曜日 (土曜日・日曜日・祝祭日は休み)

かりゆし会についての詳細・最新情報は
ホームページからご覧いただけます。

かりゆし会

検索

URL <http://www.heartlife.or.jp/>



QRコード

Universal Design

本誌はユニバーサルデザインコーディネータ検定準2級取得者の確認・校正作業を経て発行しています。

UD FONT
by HIRAGINO

広報誌「あすなる」はユニバーサルデザイン(UD)の考え方にに基づき、より多くの人へ適切に情報を
伝えられるよう配慮した見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。